

## 改善計画・結果報告書

平成 21年 6月 30日

評価会議議長 殿

農学部長 高木敏彦

組織評価に関する実施要項第10に基づき、平成20年度に実施した組織評価（自己評価及び外部評価）結果に係る要改善事項について、次のとおり改善計画・結果を報告します。

|   |
|---|
| <b>要改善事項</b>  |
| 外部評価指摘事項：「教育、研究、社会貢献、国際交流のそれぞれについて積極的な取り組みがなされているが、その具体的内容について、より分かりやすく広くアピールする必要がある」                           |
| <b>要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）</b>   |
| 具体的内容を、広く分かりやすく広報するために、現在の学部ホームページを見直す。具体的には、アクセスの容易化、HP内容の加筆修正の簡便化、英文化に向けての外部委託用仕様書を策定し、入札公告を行い、平成21年度の導入を目指す。 |
| <b>改善結果</b>   |
| 和文原稿の提出が完了し、その英文化を現在委託している。平成21年7月末に納入予定である。  |

|  |
|--|
| <b>要改善事項</b>   |
| 外部評価指摘事項：「教員数が限られている中、教育、研究、社会連携、国際交流などについて全てに秀でることは困難である。今後、これらの項目に順位づけし、特化することにより、学部の特徴を明確にすべきである」 |
| <b>要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）</b>  |
| 教育、研究、社会連携におけるそれぞれの戦略本部としての機能を強化するために、従来外部資金獲得に特化していた委員会（企画室）の所掌範囲を平成21年度より拡充するとともに人員を増員する。          |
| <b>改善結果</b>  |
| 第Ⅱ期中期目標・中期計画策定に際して、農学部の特徴を出すべく教育、研究、社会連携それぞれの分野で中期計画を策定した。   |